

魂をゆさぶれ!!

第20回

津軽三味線全日本金木大会

～仁太坊から世界へ～

平成20年5月4日（日・休日）

5日（月・祝日）2日間開催

青森県五所川原市金木町

金木公民館大ホール

問い合わせ・申込

〒037-0202 青森県五所川原市金木町朝日山 189-3

津軽三味線会館内 NPO法人かなぎ元

気倶楽部

TEL : 0173-54-1616 FAX : 0173-54-1023

Mail syamisen@kanagi-gc.net

URL <http://www.kanagi-gc.net>



第19回大会

仁太坊賞 柴田雅人（宮城県）

腕くらべ 聴けや仁太坊 俺が三味

大條和雄

主催 津軽三味線全日本金木大会実行委員会

主管 NPO法人かなぎ元気倶楽部

共催 全日本津軽三味線友の会 NHK文化センター弘前支社 五所川原市教育委員会

後援 東奥日報社 陸奥新報社 NHK弘前支局 エフエム青森

RAB青森放送 ATV青森テレビ ABA青森朝日放送

(社)五所川原市観光協会 五所川原商工会議所 金木商工会

大会開催のご案内

審査委員長 大條 和雄

平成十九年度の世相を表す恒例の年末漢字募集の一位が「偽」、二位「食」、三位が「嘘」でした。これはまさしく日本溶解現象であって、偽物か本物か、嘘か誠（真実）かの区別のつかない、信じることの出来ない世相を意味します。原因を糺せば「恥の文化」と「道徳」が廃れたことに辿りつきます。

津軽三味線は明治維新という日本の近代国家の誕生と共に坊様三味線として産声を上げましたが、物貰いのホイド三味線と卑しめられ、邦楽三味線界からは邪道三味線と軽んじられてきました。

けれども、坊様三味線には「恥の文化」の「坊様道徳」がありました。その創始者こそ仁太坊であり、昨年七月七日、金木町神原に津軽三味線の学術価値の礎たれと、仁太坊誕生百五十年記念碑が建立されました。

人の感受性はそれぞれであり、独創性を真髄とする津軽三味線においては、個性豊かに演奏するのも、それを審査する人たちもそれぞれであって、それは偽、嘘の世界ではありません。

けれども、何ごとも信じ難いというニヒリズム的社会においては、目に見えない仁、徳、信と言った精神的価値観より、はっきり目に見える価値を大切にするという風潮が吹くようになり、津軽三味線の七つの大会はそれぞれ目に見える分かり易い審査の方法に力点を注いでいるのが実情です。

それは誰の目にも分かる審査の透明性のことなのですが、その透明性を最も理論的に運営する方法として、本第二十回大会にトーナメント方式が採用されました。（大会要綱参照）

これは、仁太坊の教訓「人真似でない三味線」と、第一回大会からの審査委員長、大條和雄の大会哲理「津軽三味線生花理論」を基に具体的に発展させた方法であります。が、何より大会に参加される皆様のご理解とご協力がなければ不可能な方式であります。

何卒新しい津軽三味線の開拓大会にご理解とご支援を下さいますようお願い申し上げます。次第であります。

審 査 に つ い て

(原 点 回 帰)

津軽三味線全日本金木大会は、初年度から一貫して「人真似でない自分自身の三味線を演奏すること」を要求し、流派・門下にかかわりのない審査で、新しい時代のスタイルを評価してきました。この姿勢が若手の登竜門として津軽三味線ブームの一翼を担ったことは間違いなく、これまでの活動が一定の役割を果たしたと自負しております。

しかし、津軽三味線が持つ可能性とパフォーマンスは限りないものの、やはり、その原点を理解しなければ本物の味わいは生まれず、日本の民俗音楽としての伝統も守れないのではないかと危惧するところでもあります。

本大会審査委員会は、このような原点回帰を標榜し、津軽三味線発祥地として、始祖「神原の仁太坊」の指導哲学にのっとり、総合的な技量と津軽民謡への理解度、そして困難に立ち向かう精神力を量ることを目的として、第20回記念大会を契機に、最高の実力を競う個人一般の部A級において勝抜き戦を実施します。

(要 領)

1. 一対一の対決とし、審査員による勝敗の選択を電光掲示する。
2. 出場順番ならびに対戦枠は、当日の受付において抽選で決定する。
3. 初年度は、実績にかかわらず1回戦をオープンラウンドとして公平を図る。
4. 参加人数が奇数の場合は1回戦をシードされる場合がある。
5. 今年度の成績をもとに翌年のシード権を与える。
6. トーナメントの進行状況は大型スクリーンでライブ放映する。

(演 奏 曲)

1. 津軽五大民謡（じょんから・よされ・あいや・小原・三下がり）を課題曲とし、各ラウンドの直前に課題曲を指定する。
2. 新節・旧節・新旧節の選択については問わない。
3. 演奏時間は各ラウンド3分以内とする。

※ 個人小学生の部・中高生の部・熟年の部・一般B級はトーナメントを実施せず、従来通りとする。

※ 個人戦の演奏時間はすべて3分以内とする。

※ 団体戦のみ4分以内とする。

第 20 回 津軽三味線全日本金木大会 開催要綱

1 日 時 平成 20 年 5 月 4 日（日）～5 日（月・祝日）の 2 日間
いずれも午前 9 時より

2 場 所 青森県五所川原市金木町 金木公民館 大ホール

3 種 目

◇ 個人の部

(1) 小学生の部	定数	20 人
(2) 中高生の部	定数	30 人
(3) 熟年の部（60 歳以上）	定数	15 人
(4) 一般の部 B 級（習得年数を問わず、60 歳未満）	定数	30 人
(5) 一般の部 A 級（習得年数を問わず、60 歳未満）	定数	30 人

◇ 団体の部

(1) 小中高生の部（演奏者 3 人以上の団体）	定数	5 団体
(2) 一般 B グループ（3 人以上 10 人以下の団体）	定数	10 団体
(3) 一般 A グループ（11 人以上の団体）	定数	5 団体

※ 注意

団体の申込人数については大会当日の増員を認めません。（減員は可）
流動的な場合は、あらかじめフルメンバーでお申込ください。
受付期間内での変更は可能ですのでご相談ください。

4 参加資格と定数

参加資格は流派・門下・所属等を問わず自由です。

定数は原則として先着順ですが、参加希望者には可能な範囲で対応します。

5 演奏規定・時間

(1) 演奏曲目

個人の部 小中高生、熟年、個人一般 B 級は、自身が得意とする津軽民謡の曲弾きを 1 曲披露する。

※ 今年度より、個人一般 A 級はトーナメント方式による勝抜き戦とする。
津軽五大民謡の中からラウンドごとに課題曲を発表する。
（ラウンド直前に発表）
詳細については「審査について」をご参照ください。

団体の部はオリジナル曲でも可とする。

- (2) 演奏時間
- 個人の部
 - 小学生の部・中高生の部 3分以内
 - 熟年の部 3分以内
 - 一般の部B級 3分以内
 - 一般の部A級 3分以内
 - 団体の部
 - 小中高生の部 4分以内
 - 一般Bグループ・Aグループ 4分以内
- (3) 出場順番 個人一般の部A級は、当日受付においてトーナメント番号の抽選を行います。

他はこれまで通り主催者において厳正に抽選します。
4月20日より問合せに応じます。
(抽選はパソコンソフトで行い、人的感情を排除しています)

6 申込み方法

- (1) 申込先 〒037-0202
青森県五所川原市金木町朝日山 189-3
津軽三味線会館内 津軽三味線全日本金木大会実行委員会
電話 0173-54-1616 FAX 0173-54-1023
メールでの申し込みも可能です。
メールアドレス syamisen@kanagi-gc.net
要綱/申込書/申込状況はホームページでも公開します。
ホームページアドレス <http://www.kanagi-gc.net>

- (2) 参加料
- | | |
|----|--------------|
| 個人 | 3,000円 |
| 団体 | 1人につき 1,500円 |

- (3) 申込み方法
現金書留または銀行振込でお申込みください。
銀行振込をご利用の方は、速やかに申込用紙をメールまたはFAXで送信して下さい。

振込口座 あおもり信用金庫 金木支店
普通預金 0166148
津軽三味線全日本金木大会
ツガルジャミセンニホカギタイ

現金書留ご利用の方で受領証が必要な場合は、返信用封筒(80円切手貼付)を同封してください。

- (4) 申込み期間 平成20年2月1日～3月31日まで
期間外ならびに当日申し込みはお受けできません。

(5) 大会日程・競技順序・予定時刻

1日目 (5月4日)

1.開会式	9時00分～
2.個人小学生 (予定時刻)	9時20分～10時30分頃
3.個人中高生 //	10時30分～12時00分頃
4.昼休み (アトラクション)	
5.個人熟年 //	13時00分～14時00分頃
6.団体小中高生 //	14時00分～14時30分頃
7.講評・結果発表・表彰式	15時00分頃終了
8.文化イベント	
津軽三味線史跡巡り、供養祭 (川倉地蔵尊ほか)	
金木公民館発着	15時30分～18時00分頃

2日目 (5月5日)

1.開始挨拶ほか	9時00分～
2.個人一般B級 (予定時刻)	9時20分～11時30分頃
3.昼休み (ゲスト演奏)	
4.個人一般A級 (予定時刻)	12時30分～15時30分頃
5.団体一般Bグループ //	15時45分～16時45分頃
6.団体一般Aグループ //	16時45分～17時15分頃
7.講評・結果発表・表彰式	
8.仁太坊賞受賞者再演	18時00分頃終了

(6) 当日受付時間 午前8時00分から随時

各部門の予定時刻を参照の上、遅滞なくお願いします。
予定時刻はあくまで目安です。

7 表 彰

(1) 個人の部 (各級共通・特別賞を含む8人までノミネート)

(A級は別方式・ベスト8まで)

1位から3位まで	賞状、トロフィーまたは盾、賞金
入賞	賞状
特別賞	賞状、盾
参加賞 (参加者全員)	

個人一般の部A級1位を最高位「仁太坊賞」と称す。

「仁太坊賞」受賞者は「仁太坊まつり」において、ゲスト奏者として演奏していただきます。(9月予定)

※ 表彰ランクの変更 (今年度より)

個人一般の部A級準優勝を「白川軍八郎賞」と称す。

金木町不動林出身、仁太坊最後の弟子、津軽三味線「曲弾き」の創始者、尊称「津軽三味線の神様」にちなむ賞。

個人一般の部A級3位を「黒川桃太郎賞」と称す。

金木町嘉瀬出身、始祖仁太坊の弟子、稀代の唄い手、津軽民謡中興の祖、通称「嘉瀬の桃」にちなむ賞。

(2) 団体の部（各グループ共通・6組までノミネート）

1位から3位まで 賞状、トロフィー、賞金
入賞 賞状
参加賞（参加者全員）

(3) 特別賞(個人各部の中からオープン選出)

大條和雄賞 津軽三味線ルーツ解明者、大條和雄氏にちなむ特別賞
個人・中高生・熟年の部 各2名 賞状、盾
個人・一般の部A級・B級 各2名 賞状、盾

8 審査者（予定）

審査委員長	大條和雄	(作家、津軽三味線ルーツ解明者)
審査委員	佐藤 裕	(NHK文化センター 弘前支社長)
	采田正之	(東奥日報社 五所川原支局長)
	奈良岡松男	(陸奥新報社 五所川原支社長)
	成田 太	(県無形文化財・嘉瀬の奴踊り保存会)
	荒関裕子	(箏曲演奏家)
	工藤信悟	(ギタリスト)

◎ 文化イベントのお知らせ（5月4日開催）

1. 津軽三味線史跡巡りバスツアー（参加無料）

午後3時30分 ～ 金木公民館発着

案内者： 大條和雄

内容： 津軽三味線ゆかりの地を巡ります。
金木公民館～川倉地蔵尊（供養祭）～嘉瀬観音堂（桃地蔵拝観）
～神原集落（仁太坊の里碑・仁太坊生誕百五十年記念碑）

川倉地蔵尊本堂において先達の供養祭と献花を行ないます。

申込み： バスの手配上、出場申込書の下欄に記入または事務局へ電話連絡してください。